



# ドイツ REHACARE 2018 国際福祉機器展と 福祉用具を廻るリハケアを視察

(ドイツとイタリアにおけるリハケアと福祉用具のデザインとテクノロジー)

- 世界最大の国際福祉機器展 REHACARE 2018 展示会に参加 (ドイツ・デュッセルドルフ) ~ 展示規模の拡大と内容の充実~ 自立生活支援用具、IT・AI 活用の革新的モビリティ機器
- ドイツの高齢障害者へのリハケアの連携と認知症対応の視察 ~ アレクシアネール高齢者リハビリクリニック、サントテニス高齢者介護施設とサレベア療法士派遣会社
- 福祉用具ショップの視察 ザニテートハウス・ヴァイタル社、カピNST・オンライン社
- イタリアのドン・カルロ・ニョッキ医療福祉財団が運営する IRCCS (科学医療リハセンター) のトスカナ州本部 (フィレンツェ) のリハサービス現場の視察
- ロボティクス技術を活用したサイボーグレッグ・プロジェクト
- 福祉用具の流通・販売・レンタルとメンテナンス会社視察 ディスアビリストア社
- 福祉用具の製造と海外企業との業務提携 (デザインとテクノロジー) 視察 モレッティー社

## 【 旅行期間 】・参加コース・ご旅行代金／お1名様・2名様1室利用】

視察コース：2018年9月25日(火)～10月3日(水) 9日間  
展示会コース：2018年9月25日(火)～9月30日(日) 6日間

## 【 ご旅行代金・お1名様あたり / 2名様1室利用】

視察コース：¥498,000 (別途、空港諸税/燃油サーチャージ 約¥49,500 成田発25名定員)  
展示会コース：¥388,000 (別途、空港諸税/燃油サーチャージ 約¥38,000 成田発15名定員)

\*上記ご旅行代金・参加旅行条件等は、募集要項の記載をご覧ください。



共同企画：公益財団法人テクノエイド協会 日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA)

コーディネーター：渡邊慎一 (横浜市総合リハビリテーションセンター)

後援：一般社団法人日本福祉用具供給協会 社団法人日本作業療法士協会 (予定)

協力：メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン (MDJ) ドン・カルロ・ニョッキ財団  
アレクシアネール高齢者リハビリテーション・クリニック

視察会議展示会手配：CBRコーディネーション / 外村龍生  
TEL. 045-901-7068 / e-mail: t-tonomura@coda.ocn.ne.jp

旅行企画実施：オンワード・トラベル / (株)オンワードライフデザインネットワーク  
<申込先・問合せ先> 〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5 (観光庁長官登録旅行業第1081号)  
TEL. 03-4512-1134 FAX. 03-4512-1135 (日本旅行業協会正会員)  
担当者：二戸豊広 (e-mail: nito@oln.co.jp)

## ■ご参加のおすすめ

---

### <ご挨拶>

当協会は、1987年4月に設立され、全国唯一の福祉用具に関する公益的ナショナルセンターとして、福祉用具の開発推進、普及促進と福祉用具関係技能者、認定補聴器技能者の養成・研修に努めてまいりました。当協会は2017年に設立30周年を迎えましたが、この間の福祉用具を巡る環境は大きく変わりました。介護ロボットの急速な進歩や国際生活機能分類(ICF)の普及により自立生活支援の考え方も変わり、国民の生活の質(QOL)を高める福祉用具の活用の重要性はますます高まっています。

さて、本年も当協会では、日本福祉用具・生活支援用具協会との共同企画により、海外視察研修を企画いたしました。昨年に引き続き、ドイツ・デュッセルドルフ市の世界最大規模の国際リハビリテーション・福祉機器展「REHACARE2018」を視察します。今回は展示ホールを増やし、さらに出展社数と入場者数の増加が見込まれています。また、近年の主要テーマは自立生活への支援であり、今回は特に革新的な福祉用具、IT・ロボティクスを駆使したモビリティ用具・福祉車両等への新技術を活用したラインアップの充実が図られています。福祉用具関係の企業は勿論のこと、初出展の企業やリハケア関係の多くの団体も出展参加する展示会です。

また、イタリアの視察では、リハセンターの他にデイホスピタル、障害者・高齢者のデイセンター、老人ホーム(認知症対応)、緩和ケアホスピス、特殊学校等々の施設も併設しているドン・カルロ・ニョッキ医療福祉財団のIRCCS医療科学リハセンターを視察するとともに、福祉用具の製造事業者、販売店を見学します。

今回も、昨年に引き続き福祉用具の専門家である横浜市総合リハビリテーションセンターの渡邊慎一・地域リハビリテーション部長(元厚生労働省老健局振興課福祉用具・住宅改修指導官)に、コーディネーターとして参加していただき、専門職の立場から福祉用具への関わり方と活用の実際についてご指導いただきます。

介護現場で専門職として活躍されている方、福祉用具の研究開発や製造・供給に関わる方、保健福祉の行政に携わっている方など多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋謙策

## ■海外研修ご挨拶(JASPA)

---

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)では、福祉用具の安全性や利用効果等について調査研究を行うだけでなく、福祉用具に関する普及・啓発を行い、その結果として、わが国の福祉用具業界の発展に寄与する活動を行っております。

JASPAでは、国内市場の開拓だけでなく、海外市場開拓のため4年間に亘りデュッセルドルフで開催される「REHACARE展」に出展した経験もあり、日本製品について機能性、デザイン等について評価が高く、欧州においてもマーケットがあることを確認しています。今後、日本企業が海外に進出するにあたり、世界各国の新しい福祉用具の機能やデザイン等の新しい流れを知ることが非常に重要ですが、そのためには「REHACARE展」を視察することがもっともふさわしいと考えています。

今回の海外視察研修は、「REHACARE展」の視察だけでなく、イタリア国内では、ドン・カルロ・ニョッキ医療福祉財団の科学医療リハセンター、福祉用具販売店、福祉用具メーカーをはじめ、ドイツにおける高齢者リハビリテーション病院、高齢者介護施設、老人ホーム、福祉用具ショップ等の視察も企画しておりますので、特に産業界からのご参加をいただきたく存じます。

一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会  
会 長 木村憲司  
国際交流部会長 池田 茂

## ■視察のポイント

今回の視察は、ドイツとイタリアです。ドイツでは、REHACARE2018(福祉用具展示会)を中心に見学します。わが国では介護保険により福祉用具はより身近なものとなり、多くの高齢者や障害者が福祉用具を利用しています。毎年全国各地で開催される福祉用具の展示会は福祉用具にかかわる専門家や利用者にとっての新しい福祉用具の情報収集の場となっています。REHACARE2018 は、世界最大規模の展示会で、世界中の優秀な福祉用具や生活支援機器が一堂に会する場です。海外の福祉機器展と日本のそれと比較してみると、全体の雰囲気や来場者層の違いがよく分かります。展示されている福祉用具は、性能や使い勝手もさることながら、色使いやデザインの素晴らしさに圧倒されることがしばしばです。福祉用具を、見て、実際に触って、機能や適応を考えてみましょう。また、福祉用具のショッップ、高齢者施設等の見学により、どのように福祉用具が高齢者や障害者に提供されているのか、医療や介護現場でどのように活用されているのか、多くの情報を意欲的に吸収して下さい。

また、イタリアでは、有力な福祉用具の研究・評価・情報事業も含む地域ケア・リハビリテーションの実践機関であるドン・カルロ・ニョッキ医療福祉財団の IRCCS 科学医療センターを訪問します。イタリア各地で地域ケアとリハビリテーションを展開しています。地域ケア・リハビリテーションでの、福祉用具の活用や役割等を学ぶ機会となるでしょう。また、福祉用具の製造事業者、販売店を見学することで、イタリアでの福祉用具の現状を把握することになります。

わが国は、課題先進国と呼ばれ、高齢社会、人口減少等のなか社会保障制度のあり方について見直し議論がさまざまな場で行われています。諸外国の福祉用具やその支給体制を知ることによって、高齢者や障害者の自立を支援することともに、我が国は今後どうあるべきかについて考えるきっかけになればと思います。

視察中はご参加の皆様とできる限り多くの時間を共有し、語り合える機会を持ちたいと考えています。

コーディネーター： 渡邊 慎一

## ■コーディネーターの紹介

渡邊慎一(わたなべ・しんいち) 1961 年生まれ

### 履 歴：

横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部 部長  
(元 厚生労働省 福祉用具・住宅改修指導官)  
一般社団法人神奈川県作業療法士会 顧問  
一般社団法人福祉用具専門相談員協会 理事  
一般社団法人日本作業療法士協会制度対策部福祉用具 対策委員長

### 著 書：

地域リハビリテーション・マニュアル(共著 三輪書店)  
福祉用具専門相談員研修指導テキスト(中央法規出版)  
福祉住環境コーディネーター2級テキスト





## ◆ REHACARE 2018 (国際リハビリテーション・福祉機器展)

世界最大規模の国際的なリハ・福祉・介護機器展である。障害者や高齢者が快適にいきいきと生活できるよう、約 30,000 m<sup>2</sup>の展示面積に 10,000 点を超えるリハ機器・福祉用具・介護機器などが出展されている。昨年の出展者は 39 ヶ国、約 780 社、来場者は約 39,000 人で、今回は更に使用ホールを1ホール増やし展示面積の拡大・出展者数と入場者数の増加が見込まれている。近年の主要テーマは自立生活への支援であり、特にイノベティブな福祉用具、IT・ロボティクスを駆使したモビリティ用具・福祉車輛等への新技術を活用したラインアップにて、今回は更なる充実が図られる。福祉用具のメイン企業は勿論のこと初出展の企業からも多くの新製品の出展が予測され、リハケア関係の多くの団体も出展参加する。会場では公開討論会、ワークショップ、芸術展、スポーツアクティビティが立体的に同時開催される。メッセ・デュッセルルフ・ジャパンは現在日本からの出展企業を募集中で昨年は7社が出展し商談実績も増えている。過去4回JASPAがジェットロ等と協力し日本の福祉用具企業約 10 社をまとめ出展した経緯もある。

REHACARE 2017 より展示会場ホールと展示ブースの一例 ↓



会場:デュッセルドルフ見本市会場 (Messe Dusseldorf) 会期:2018年9月26日(水)~9月29日(土)

詳細情報:メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン(MDJ)Dr. A. Moerke 社長/専任担当 服部浩徳氏

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ・ガーデンコート 7F

Tel:03-5210-9951 Fax: 03-5210-9959 e-mail: hattori@messe-dus.co.jp Web: www.messe-dus.co.jp

### < 視察対象概要 > ドイツ と イタリア

**ドイツでの視察(展示会コースと視察コース共通)** 現地視察先の都合により、25 名までの人数制限のある視察先(病院・施設等)があります。9月27日は、視察コース参加者が優先となります。

**展示会コース参加の方は、オプション参加(専用車・昼食・通訳付き約10,000円)とさせていただきます。**

現地協力者: 口羽洋子さん 及び ミュラー・柴 勵子さん(通訳・調査)

(注)見学先と訪問順序が変更になる場合があります。

## ◆ 福祉用具ショップ・ヴァイタル社 (Vital Sanitaetshaus) Hilden 市 9/26(水) 午前 08:30~10:30

Dusseldorf から車で約 30 分の Hilden 市に本店がある福祉用具機器販売店(Sanitaetshaus)で整形外科機器用の工房も持っている。他 2ヶ所に支店がある。介護用品・衣料品を中心に福祉用具・リハ機器・整形外科機器(義肢装具)・健康機器などを扱っており、通常販売と保険適用販売・貸与をおこなっている。歩行器と車いすはカタログ販売で展示販売はしていない。フィッティング・相談には理学療法士・作業療法士・義肢装具士(マイスター)が対応している。経営理念のひとつとして店舗の雰囲気作りに拘り、顧客に明るく快適に来店頂くべく努めている。スタッフは経営者を含め合計約 50 人。販売フロア(1階)、工房、そして事務所(2階)と展示商品を見学する。講義内容は、①流通(販売・貸与) ②介護保険・医療保険対応商品と支払い適用条件など。

外観



2017 年度、視察訪問



義肢工房見学





◆ アレクシアーネル・高齢者リハビリテーション病院 ・テニスフォルス

9/27(木)午前

(Alexianer Rehabilitationsklinik Fuer Geriatrie, Toenisvorst)

Alexianer 修道会傘下の有限会社の運営、全ドイツで病院と介護施設が 170 ある。デュッセルドルフ郊外の Toenisvorst にある当病院の老人医療科は、1999 年に設立、リハクリニックは 2014 年に新たに開設、骨折・老人病疾患・糖尿病・脳卒中等の身体機能低下に対応し退院後の自立生活の為に住宅環境調査も行っている。ショートステイ(レスパイトケア)の機能も有し、病院と在宅又は施設をリンクさせる中間リハケア施設の立場で認知症対応も含むリハケアサービスを提供している。Dr.Leischker の指導下、セラピーは下記の Salvea に委託している。別の地区 Krefeld には認知症研究センターもあり連携しリハケアにあたっている。

高齢者施設の一例と視察時の集合写真



◆ 高齢者介護施設・老人ホーム(Seniorenhaus St.Toenis, Toenisvorst)

9/27(木)午前

前述病院と同じ有限会社により運営されている。病院に隣接しており、1960 年に設立、1993 年に拡張・改装された高齢者入居介護施設。入居者 162 名(認知症者含む)をスタッフ 150 名でケアしている。居室は 19-40 m<sup>2</sup>で自立生活棟はない。共有設備としてレストラン・チャペル・台所・足治療室・美容院・多目的室・リハビリ庭園等を付設。郊外ピクニック等のアクティビティーも行い、外部からのショートステイ者は 12 名。

施設外観 ↓



居室に面した廊下



◆ サレベア・リハビリ・療法サービス会社 (Salvea, Krefeld)

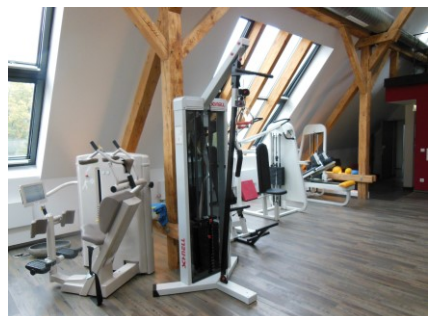
9/27 (木) 午後

Salvea の療法士(PT、OT、STなど)は、リハ病院との契約に基づき病院内の担当専門医の指示・要請によりクリニックにてリハ・セラピーの一部を行う。病院退院後にも Salvea にて又は在宅にてサービスを継続して利用できる。それらのサービスは医療保険・介護保険の対象になる場合もある。治療の向上・効果を上げるために Salvea はセラピー・スタッフの再訓練を行っており、常に最新のノウハウを持っている。病院としては委託契約により経済的な面での効果も期待できる。

外観 ↓



トレーニング 一例 ↓





◆ オンライン福祉用具販売企業・カフイングスト・オンライン社（Kaphingst online GmbH, Rehashop.de）の  
リハショップ・ショールーム 9/27(木) 午後 16:30-17:30 自由視察

デュッセルドルフの日航ホテル近くにショールームを2年程前から開設した。最近では福祉用具の特に大型（特に重量のある物）は、オンライン販売に移行の傾向があり、それらの販売促進そのためにショールームを開設している。

大型の取り扱い製品は以下の6アイテム。 1) 電気モバイル(小型4輪スクーター) 2) 車椅子 3) 歩行器 4) 介護用ベット 5) 立ち上がり機能付き安楽椅子 6) 入浴補助具(リフトなど)でその他、販売品目として上記の品目以外に多くの小物も含め介護用品・靴・杖等の自助具や衣類など日用品、施設等で使うような機器・用具も取り扱っている。

本社は、1912年創業の Kaphingst online GmbH で Lahntal には巨大な物流センターがある。

お店の外観 ↓



ショールームのイメージ ↓



◆ 福祉用具ショップ・シュトルツ社（Sanitaetshaus Stortz, Koeln） 9/29(土) 午前 自由視察

（展示会コース希望者のみ対象：ケルン往復、普通列車にて移動、通訳か添乗員が同行）

Stortz はケルンにあるこの地方では最大の福祉用具ショップで、3階に分かれ、福祉用具・リハ機器・整形外科機器(義肢装具)・介護用品・衣料品・健康機器など幅広い商品を扱っている。療法士・義肢装具士(マイスター)など専門家が対応。営業員は施設へのサービスも担当している。店舗故、自由に店舗・商品を見学する。

Stortz 社の外観と店内 ↓



\*\*\*\*\*

< イタリア・フィレンツェの市内見学の概要 > 視察コース：9月30日(日) 終日

14-16 世紀にメディチ家の庇護の基、学問・文芸・芸術などの文化が繁栄した中世自由都市である。アルノ川の両岸に展開する町そのものがイタリアン・ルネサンス芸術の都にふさわしく美しい。ミケランジェロ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ラファエロ、ボッチチェリー、フラアンジェリコなどのイタリアン・ルネサンスの巨匠と言われる芸術家達がここで才能を開花させ、その後イタリアのみならずヨーロッパ全体に強い影響を与えた。ルネサンス美術の宝庫と言われるウフィツィ美術館を始め諸美術館で絵画・彫刻を、そして中世の橋・ポンテ・ベッキオ、ドゥモウなどの建築物と町並みを散策頂きます。

フィレンツェ市内の街並みイメージ



イタリアン・ルネサンスの美術作品の一例



ウフィツィー美術館の外観



## < イタリア視察対象概要 >

視察コースのみ：10月1日（月）終日視察 及び 10月2日（火）半日（午前）視察

現地協力者：萩原千佳子さん（通訳・調査）

### ◆ IRCCS科学医療リハセンター（IRCCS Santa Maria Nascente） 10月1日（月）午前

中部支部・トスカーナ州本部、トスカーナ州・フィレンツェ、運営母体：ドンカルロニョッキ医療福祉財団

当財団は宗教家・カルロ・ニョッキにより設立され、国公認の医療・福祉・リハケア・福祉用具研究所・教育機関として活動、ミラノに総本部を置き、イタリア全土9州に28センターを中心に展開している。全国で5,700人のスタッフが日々約10,000人の患者に対応している。第二次世界大戦後の創世記は身体障害児のリハケアからスタートし、全国7カ所に身体障害児の養護学校・施設を開設、1966年からは全年代の身体・神経・精神・脳損傷・内部障害などに対応し、現在ではリハセンター以外にデイホスピタル、デイセンター、老人ホーム（認知症対応）、緩和ケアホスピス、特殊学校等々の施設も併設し展開している。今回はフィレンツェにあるトスカーナ州本部のIRCCS医療科学リハセンターを視察する。同センターは、ミラノ同様ポツォラテコノの地に開設された養護施設が2000年にIRCCSとして承認され、2011年に現在地に移転し、現在では心臓・呼吸器・脳・神経・整形外科など全年代のほとんどの疾患・障害に対応しイタリア全体でも最先端を行く小児特殊リハビリ科も含めた代表的な総合リハセンターとなっている。現在のベッド数は200、医師、看護師を始め340名が勤務。SIVA（福祉用具情報ネットワーク）を始め、同センターのリハビリ活動とロボティクス活用のサイボーグレッグのプロジェクトを見学する。サイボーグレッグプロジェクトは、当財団とピサのサンタ・アンナ高等学校とのコラボレーションから生まれた欧州プロジェクトで、サイボーグレッグは実験、開発段階である。

フィレンツェ・リハセンター外観とリハケアの一例



### ◆ 福祉用具販売店・ディスアビリストア社（Disabilistore SRL, Firenze） 10月1日（月）午後

障害者のための車輛などのハンドル改造の修理工場の経験を持つ、フェデリコ・ポツジェージが販売店を設立した。障害者や高齢者のモビリティに関係するサービスを提供している。メンテナンスや技術的な面もフォローし、レンタル、ネット販売も手掛け、その他中古品なども扱っている。販路はトスカーナ全体に加えて、ローマ、ペルージャにまで及ぶ。ショールームも併設、一部のリフトなど製造も手がける。販売の主製品は電動車椅子・特殊車輛・車輛用電動リフトなどの他、手動車いす・ホイスト・介護ベッド・立ち上がり椅子・小物の杖など幅広く取り扱っており、ショールームに展示している。視察内容は流通（販売・レンタル）・医療保険対応などの説明を受け、ショールームを見学する。

### ◆ 福祉用具メーカー・モレッティ社（Moretti S.p.A.）アレッツォ近郊（フィレンツェから50km） 10月2日（火）午後

1976年に、F・ファブリーニ、M&L・チェッライの三人によって創設された。ももとは、医療機器、福祉用具などの商社であったが、EUの通貨統合により販路をイタリア国内からヨーロッパへと展開し、ブランドを広めるためにインフラやマーケティングに新しい投資を行い、2002年に現在地へ移転。28,000㎡の敷地には、オフィスやショールームなど17,000㎡に及ぶ社屋と、6,000㎡の貨物の積み下ろしのための広大なスペースを確保している。その後、引き続き4,000点に上る福祉用具（医療機器も含む）を12のラインに分け、新しいロゴ、パッケージングや、広告キャンペーンを開発しその効果で売り上げは5年で2倍となり、モレッティの知名度も高くなった。2013年には新しい挑戦として、それまではアジアでの生産に頼っていた製品を自社で自社ブランドとして生産を始める。自社注力製品は電動車椅子・スクーター、病院・施設用ベッド・入浴器などがある。従業員数は現在約60名。視察テーマとしては、デザイン開発、販売企画、中国から輸入の問題、サーティフィケーション、コンサルティングなど興味あるトピックスを予定している。

ディスアビリストア社商品一例



モレッティ社工場外観と商品一例





**< REHACARE 2018 視察コース 9日間 > 日程**

2018/5/7 作成

日数	月/日	都 市 名	時 間	交 通 機 関	行 程	食 事
1	9月25日 (火)	成 田 空 港 発 デュッセルドルフ着	11:00 16:00	NH 209 専用車	全日空にてデュッセルドルフへ(直行便) 到着後、ホテルへ移動、チェックイン 泊:デュッセルドルフ	機内
2	9月26日 (水)	デュッセルドルフ滞在		専用車 Uバーン	ホテルにて朝食 午前 専門視察 (通訳同行) 視察①ザニテートハウス・ヴァイタル社 午後 REHACARE 展示会に参加 (通訳同行) 親睦夕食会(中華料理) 泊:デュッセルドルフ	朝食 夕食
3	9月27日 (木)	デュッセルドルフ滞在		専用車	ホテルにて朝食 終日 専門視察 (通訳同行) 午前:視察②アレクシアネール高齢者リハビリクリニック 視察③サントテニス高齢者介護施設 午後:視察④サレベア療法士派遣会社 視察⑤オンライン福祉用具販売店(自由見学) 泊:デュッセルドルフ	朝食
4	9月28日 (金)	デュッセルドルフ滞在		Uバーン	ホテルにて朝食 終日午後 REHACARE 展示会に参加 (通訳同行) 泊:デュッセルドルフ	朝食
5	9月29日 (土)	デュッセルドルフ発 フランクフルト着 フランクフルト発 フィレンツェ着	午 前 午 後	専用車 航空機 航空機 専用車	ホテルにて朝食後、空港へ移動 ルフトハンザ航空にてフランクフルトまたはミュンヘン経由乗り継ぎにてフィレンツェへ 到着後、ホテルへ、自由行動 泊:フィレンツェ	朝食
6	9月30日 (日)	フィレンツェ滞 在		専用車	ホテルにて朝食 終日 フィレンツェ見学(ウフィツィ美術館、市内観光) 泊:フィレンツェ	朝食 昼食
7	10月1日 (月)	フィレンツェ滞 在		専用車	ホテルにて朝食 終日 専門視察 (通訳同行) 午前:視察⑥ドンカルロニョッキ財団・IRCCS(科学医療リハセンター)トスカーナ州本部 午後:視察⑦福祉用具販売店・ディスアビリストア社 夕食懇親会 泊:フィレンツェ	朝食 昼食 夕食
8	10月2日 (火)	フィレンツェ発 ミュンヘン着 ミュンヘン発	16:30 17:45 21:25	専用車 EN 8197 NH 218	ホテルにて朝食 午前:専門視察(通訳同行) 視察⑧モレッティ社 視察終了後、空港へ移動 空路、ルフトハンザ航空にてミュンヘンへ 乗継便、全日空にて帰国の途へ 泊:機内	朝食 機内
9	10月3日 (水)	羽 田 空 港 着	15:50		羽田到着、通関後解散	

**< REHACARE 2018 展示会コース 6日間 > 日程**

日数	月/日	都 市 名	時 間	交 通 機 関	行 程	食 事
1	9月25日 (火)	成 田 空 港 発 デュッセルドルフ着	11:00 16:00	NH 209 専用車	全日空にてデュッセルドルフへ(直行便) 到着後、ホテルへ移動、チェックイン 泊:デュッセルドルフ	機内
2	9月26日 (水)	デュッセルドルフ滞在		Uバーン 専用車	ホテルにて朝食 終日 REHACARE 展示会に参加 (通訳同行) 半日専門視察 ザニテートハウス・ヴァイタル社 親睦夕食会(中華料理) 泊:デュッセルドルフ	朝食 夕食
3	9月27日 (木)	デュッセルドルフ滞在		Uバーン	ホテルにて朝食 終日 REHACARE 展示会に参加 (通訳なし) <終日 専門視察> 有料オプションにて参加 (通訳同行) 午前:視察①アレクシアネール高齢者リハビリクリニック 視察②サントテニス高齢者介護施設 午後:視察③サルベア療法士派遣会社 視察④オンライン福祉用具販売店(自由見学) 泊:デュッセルドルフ	朝食
4	9月28日 (金)	デュッセルドルフ滞在		Uバーン 専用車	ホテルにて朝食 終日 REHACARE 展示会に参加 (通訳同行) 泊:デュッセルドルフ	朝食
5	9月29日 (土)	デュッセルドルフ発	17:00 20:00	専用車 NH 210	ホテルにて朝食 終日 REHACARE 展示会に参加 午前:希望者は列車にてケルンへ(ザニテートハウス・シュトルツ、ケルン大聖堂は自由見学) ※交通費実費(通訳同行) ホテルより空港へ移動 全日空にて帰国の途へ 泊:機内	朝食 機内
6	9月30日 (日)	成 田 空 港 発	14:25		成田到着、通関後解散	



# \*\*\*\*\* 募 集 要 項 \*\*\*\*\*

## ■ご旅行代金に含まれるもの

- (1) 航空運賃: エコノミークラス(団体包括運賃)
- (2) 利用航空会社: 視察コース/全日空(NH)・ルフトハンザ航空(LH)  
展示会コース/全日空(NH)  
(別行動は他社便可・但し別運賃の設定となります)
- (3) 宿泊代: ホテル2名1部屋利用  
下記のホテル又は同等クラス(4星)ホテル
- (4) バス・ガイド代: 送迎、視察、観光時の移動費用、バス代、ガイド代
- (5) 視察代: 通訳代、コーディネーター料、寄付、講義料、会議室代、  
資料作成費、展示会入場券、カタログ代
- (6) その他: 企画募集型旅行保険代、税金(VAT)
- (7) 食事代: 日程表中に明示したもの
- (8) 添乗員: 視察コース25名以上、展示会コース15名以上の  
参加者の場合、各コースに添乗員が同行します。

■最少催行人員 視察コース:15名、展示会コース:10名

## ■ご旅行代金に含まれないもの

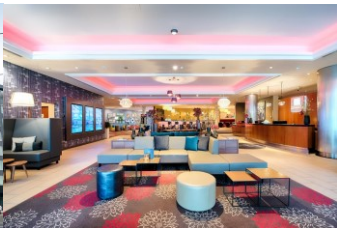
- (1) 国内交通費: 成田空港までの交通費、国内線乗り継ぎ運賃  
前泊代金など
- (2) 燃油代・空港諸税: 視察コース ¥49,500 (2018年4月1日現在)  
展示会コース ¥38,000 (2018年4月1日現在)  
※金額が変動する場合がございます。
- (3) ビジネスクラス利用追加代: 利用可能な予約クラスにより、差額運賃は変動し  
ます。当該ビジネスクラス運賃等は、座席数に限りが  
ございますので、お早目にお申し込み・お問い合  
わせください。
- (4) 1人部屋利用追加代: 視察コース ¥113,500  
展示会コース ¥73,000
- (5) 個人的費用: 別行動費用、飲み物代、電話代、個人的費用、  
海外旅行傷害保険代、渡航書類作成費用等
- (6) 査証代: 査証は不要(但し、ドイツ、イタリア共に出国時、  
3ヶ月以上の旅券残存有効期間が必要です)。

<ご旅行代金> : 視 察コース 9日間 (7泊9日) お1人様 ¥498,000 成田発/羽田着  
展示会コース 6日間 (4泊6日) お1人様 ¥388,000 成田発着

※ご旅行代金は、お1人様あたり、2名1部屋利用時のご旅行代金です。  
※空港諸税、燃油サーチャージは含まれておりませんので、別途必要となります(上記記載を参照ください)。  
※1人部屋利用の場合は、別途追加代金が必要となりますので上記記載を参照ください。  
※両コース共、日本国内発着にて国内線乗り継ぎ割引運賃がご利用頂けますので、お申込時にお問い合わせください。  
※ツアーにおける当社設定便以外の航空会社利用、中部空港・関西空港発着などのご要望のある場合は、お問い合わせください。

## ■ 宿泊ホテル

デュッセルドルフ: レオナルド・ロイヤル・ホテル・デュッセルドルフ・ケーニヒスアレー (4星クラス) ※写真左下イメージ  
フィレンツェ: ホテル・ロンドラ・フィレンツェ (4星クラス) ※写真右下イメージ



## 【ご旅行条件・要約】

お申込みの際には、下記旅行条件書(抜粋)内容をご確認のうえ、お申し込みください。ご不明な点などは、ご連絡をお願いします。

### ●お申込方法と契約の成立の時期

当社所定の申込書に下記の申込金を添えてお申込下さい。申込金は旅行代金のお支払の際、差し引かせて頂きます。電話・郵便・FAXでお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをして頂きます。旅行契約は、当社が予約を承諾し申込金を受領した時に成立致します。

### ●旅行代金のお支払

お申込み後、お申込金として、50,000円の請求書をお送り申し上げます。旅行代金(残金)は、8月24日(金)より前にお申込みが、出発間際は、当社が指定する期日までに支払ってください。

### ●旅行条件

この旅行条件は2018年4月1日を基準としています。お申し込みの際は、必ず当社ホームページに記載されている旅行条件書をお読み下さい。ご希望の方には書面にて旅行条件書をお渡し致します。

### ■申込締切日: 2018年8月10日(金曜日)

デュッセルドルフのホテル(20部屋確保)及び全日空(募集座席数確保)は、8月10日までに申し込み頂いた方には確約します。

### ●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される時は、次の金額と取消料として申し受けます。

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目にあたる日以降3日前日にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日及び前日	旅行代金の30%
旅行開始日当日	旅行代金の50%
無連絡不参加及び旅行開始後	旅行代金の100%

### ●その他

ご旅行代金は、お1人様分を表示しています。当該ツアー以外の手配につきましては、別途に手配、お見積いたします。

旅行企画・実施 / オンワードトラベル (旅行申込・お問い合わせ先)  
株式会社オンワードライブデザインネットワーク

(観光庁長官登録旅行業第1081号・日本旅行業協会正会員)

HPアドレス <http://www.oln.co.jp/>

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5 オワードビルディング

TEL: 03-4512-1134 FAX: 03-4512-1135

総合旅行業務取扱管理者 / 二戸豊広 担当/二戸

E-mail: [nito@oln.co.jp](mailto:nito@oln.co.jp)

視察手配(展示会・視察のお問い合わせ)

C B R コーディネーション

神奈川県横浜市青葉区美しが丘4-22-38

TEL&FAX: 045-901-7068

担当者: 外村龍生

Email: [t-tonomura@coda.ocn.ne.jp](mailto:t-tonomura@coda.ocn.ne.jp)

# < REHACARE 2018 お申込書 >

\*\*\* ご記入の上、FAX またはメール添付にてお送り下さい \*\*\*

TEL : 03-4512-1134

FAX : 03-4512-1135

Email : nito@oln.co.jp

<参加希望コース>

視察コース

展示会コース

のいずれかにしを付けてください。

年 月 日 記入

MR ・ MS	フリガナ 参加者名 (漢字)		生年月日	昭和 ・ 平成	年生れ
	パスポート名 (ローマ字)			西暦 日	年 月
旅券番号 (パスポート No.)				発行年月日： ..... 有効期限日：	
現住所		〒			
		携帯番号：		自宅電話：	
		FAX：			
勤務先名			所属先		
勤務先住所		〒			
勤務先・連絡先		内線		FAX E-mail	
現地滞在中にて 1人部屋利用		<input type="checkbox"/> 希望する ・ <input type="checkbox"/> 希望しない		<input type="checkbox"/> ビジネスクラス利用 希望する <input type="checkbox"/> プレミアムエコノミー利用 希望する	
<b>★今回、宿泊利用の デュッセルドルフ と フィレンツェ のホテルは、全て禁煙ルームとなりますので予めご留意ください。</b>					
国内線利用 (乗継便利用)		<input type="checkbox"/> 利用あり(発着希望空港： ) ・ <input type="checkbox"/> 利用なし			
成田空港近郊 前泊手配		<input type="checkbox"/> 希望する ・ <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 2名1部屋利用希望 <input type="checkbox"/> 1名1部屋利用希望		<禁煙・喫煙のルームの希望> <input type="checkbox"/> 禁煙 ・ <input type="checkbox"/> 喫煙 ※ご希望にそえない場合がございます。	
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>●お申込書とパスポートコピーを必ずご提出ください。</li> <li>●パスポート取得申請中の方は、その旨を記入して、後日、コピーをご提出ください。</li> </ul>			

当社は旅行お申し込みの際にお伺いするお客様の個人情報について、弊社個人情報管理規程に基づき厳重に管理し、当該旅行・渡航の宿泊、運送上の予約・手配を正確かつ迅速に行う事を利用目的とし、またそれに付随し必要とされるお客様との連絡、或いはお客様の希望するサービスの提供にのみ利用します。